



昨年7月3日撮影・高度約1300フィート（400m）  
 本校東上空より撮影、左上に武蔵関公園と東伏見駅  
 が見えました。住宅の中にぽっかり空いたグラウンドは、  
 空から見ても、災害など緊急時にヘリが着陸  
 できそうです。（い）



石神井高校同窓会誌  
 「きずな」第50号  
 平成13年5月発行

「きずな」は今回で  
**第50号**となりました

**今年の総会・懇親会は  
 6月23日(土)!**

**13:00 総会  
 14:00 懇親会**

於：本校にて

楽しい懇親会にもぜひご参加ください。会費はいまどき驚きの1000円（お得！）しかもフリードリンク、バイキング形式の気さくなパーティ。例年、石吹（プラスバンド）の参加で校歌を大合唱、大いに盛り上がっています。6/23日（土）母校多目的室で14:00より開催します。

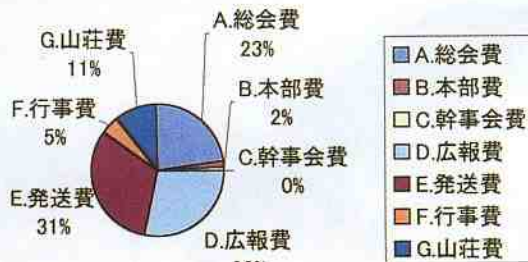


**同窓会の年会費、本年度もよろしく!**

副会長 高橋一夫（高校20回）

おかげさまで、昨年度の年会費納入が増えました（約80万円）、ありがとうございました。約2万人の同窓生に「きずな」を発送することや、同窓会諸行事、山荘への補助、現役生への補助などに有効利用されています。

これまで未払いの方でも、過去にさかのぼって振り込みする必要はありませんので、郵便局へ行き今年度分「2,000円」をお振り込み下さい。総会当日には、会場での会費支払いも受け付けます。



# 石神井&同窓会 TOPICS

**体育祭** 昨年6月4日に恒例の体育祭が開催されました。写真のご提供は、D家さん（匿名希望）



## 総会・懇親会

6月24日の総会のあとは、例年のように楽しい懇親会が開催されました。



### 通過点

同窓会会長 高橋 勇(中二回)

本年は東北方面と関西方面とでは寒暖の差が大きかったようです。サクラの花も東京では例年より長持ちしました。会員各位にはご清栄のこととお慶び申し上げます。最初に私事ですが、本年の総会をもって会長職を退き、副会長・幹事長として私を始めとする役員、幹事をまとめて支えてくれた「林 弘」氏を平成十三年度からの会長候補として、推薦いたします。



さて、私の関係する会の研修会が札幌で開かれ、その記念講演に「杉山 邦博」氏が招かれました。大相撲放送で、

### 「挨拶と石神井精神

同窓会幹事長 林 弘

私は高橋会長と同期の中学二回卒業生で、現在まで副会長・幹事長をつとめさせていただいておりました。高橋会長退任の際は私も退き、世代交代をすべきと思っております。高橋会長が任期半ばで退任されることになり、後任人事について役員・



幹事会の総意であるから引き受けるよう言われ、心ならずも次期会長候補ということになりました。会長の選任は総会で決められることになっ

大関貴ノ花(現二子山親方)の引退の放送で絶句、「泣きの杉山、泣かせの杉山」と言われました元NHKアナウンサーの緩急、強弱、破除の絶妙な間合いの語りに魅せられました。

その中で、野球の王選手がホームラン記録を打ち立てた時、「遂に世界記録を達成しました」と放送して、後に王選手にその事を伝えたら、彼は「目標としていました、達成したとは考えていません。私にとっては一つの通過点です」と言われて、正になる程と感心させられたとの、エピソードの披露がありました。確かに「達成した」と言う表現には「完了した」のニュアンスがあります。目標を目指し、そこに至った時、それは「通過点」であり、次の新たな目標を目指す意味合いで、私達の研修会では「通過点」と言う言葉がキーワー

ており、誌上での挨拶は変則的ではありますが、年一度の「きずな」発行であるので、前例に従うことになりました。

高橋会長は在任中、母校の五十周年、六十周年事業に敏腕を振るわれ、また同窓会の財政的基盤の構築に尽力され、従来より充実した同窓会活動が出来るようになり、その功績は大なるものがあります。

当面、任期半ばで退任されたことですので、現状を踏襲し、同窓会の更なる健全な活動のし得るような方策を役員、幹事ともども考えていきたいと思っております。

以前「きずな」に投稿した内容ですが、初代丸山校長の言われた「石神井精神」すなわち「石のような意思の強い、神のような

ドになって使われました。

同窓会もミレニアムの昨年、「会員名簿」を発刊することが出来、また母校六十周年記念講演会を現役在校生の諸君を対象に開催することが出来ました。私としましては、五十周年の記念誌発行の実行委員長として同窓会に参与してから丁度一区切りの節目の年を越え、同窓会・母校の更なる発展を願って、ゴールテープを切るのではなく、「通過点」のバトンゾーンでバトンをリレーいたします。

改めて、会の運営を支えてくださった役員、幹事の皆様、会費納入にご協力ご支援をいただいた会員各位に深く感謝とお礼を申し述べさせていただきます。母校「石神井」の益々の隆盛と、会員各位のご多幸、ご健勝を祈念して、退任の挨拶といたします。

崇高な心を持ち、井戸のような深みのある人間になるよう志せ」を忘れることなく、生涯消えることのない都立石神井高校(中学)の卒業生という履歴を汚さぬよう、同窓生各位の自覚により母校の発展のお手伝いできればと願っておりますので、何分の御協力と、御指導、御鞭撻を願います。

「きずな」の原稿を募集しております。ご自身、同窓生の近況をお知らせください。

## 私たちが同窓会役員・幹事会メンバーです!



同窓会は多くの世代の方々のご協力により運営されております。総会、懇親会、黒菱山荘ツアー、校歌祭と多彩な行事を行っております。そして、きずなの発行は50号を迎え、みんなますますがんばっていますが、役員・幹事もだんだん高齢化しておりますので世代交代も急務となりつつあります。これからは行事も益々盛んになりますので、更なる同窓生の方々のご協力を必要としておりますので宜しくお願いいたします。

**若手メンバー歓迎** (若手でなくとも大歓迎)

初めまして

石神井高等学校 校長 小林 和夫

外池武嗣前校長の後任として着任いたしました。前校長同様よろしくお願い申し上げます。

私は、愛知県の出身ですが、物心ついた頃から、東京下町の荒川区で育ちました。教員経験は、北区の中学校をはじめ、都立京橋高校、南高校の教諭、その後農業高校定時制教頭、上野高校通信制副校長を経て、現在に至っております。

中学生よりバスケットボールを始め、現在まで魅力にとりつかれています。石神井高校とは子のバスケットボールを通して公式戦の会場校として生徒引率や、審判として何度も足を運ぶなど繋がりがありません。また、私がバスケットの指導においてご指導を受けました、歴代の顧問の先生である、故清水昭次先生、川島正雄先生、柴田順三先生や、大学時代の同級生である山下章先生等、私と石神井高校の繋がりの深さを感じているところです。

また、私は保健体育の教諭として、かつてNHKのTVで拝見した石神井高校体育祭の素晴らしい映像は現在も鮮明に残っております。都立高校では、石神井高校と共に、小山台高校、南



高校の三校の体育祭が有名で、それぞれNHKで紹介されました。私も、南高校で体育祭を経

験してきましたが、伝統の重みのある石神井高校の体育祭を今から楽しみにしています。本校は、創立六十年を越え、自主的、自立的に行動できる生徒の育成を目指し、部活動が活発なこと、休日返上して生徒のために一生懸命指導される先生が大勢いることを目の当たりにしています。歴代の校長が築いてこられた、文武両道の伝統を更に磨きをかけていきたいと思っています。近年学校を取り巻く教育環境は急速に変化しております。時代の変化に対応しつつ、伝統を維持し、地域社会、生徒、保護者、同窓生の皆さんから信頼され、期待される学校づくりに努力していきたいと考えております。

同窓生の皆さんのご協力をお願いいたします。

「石神井高校」

二度目の卒業を迎えて

山下 章(高校十九回)

この四月、十二年間お世話になった石神井高校を異動し、隣の大泉高校に勤務しています。十二年間の思い出は、この紙面では書ききれない程数多くあります。赴任した時には高校時の担任団のおひとりの相田先生がおられ、故清水昭次先生と八年同じ職場で一緒に経験があるので、違和感は無かったものの、昔と同じ校舎での勤務は、何となく気まずい思いがありました。しかし、相田先生の気さくな対応に救わ

れ、のびのびと勤務できたように思います。

さて、一番印象に残っていることは何かと問われると、一つに絞れませんが、まだ脳裏に残っている出来事は、女子バスケットボール部が惜しくも破れた、四十四期と五十三期の関東大会代表を決定するゲームであります。今でも試合の流れ、タイムアウトを取った場面、鮮明に浮かび上がります。数点差の負けはコーチの責任といえます。今でも「勝たせてあげたかった」という思いで一杯です。その時の反省を胸にバスケットの指導に当たっています。

今年のチームも先輩たちに劣らず、関東大会代表決定戦に出られる可能性が十分にあるチームです。応援して下さい。

また、一つには非常に楽しい職場であったことです。(駄洒落をとばす石神井高校先輩の手崎某氏だけでなく……お世話になりました。)

学校の教員が何だかんだといわれる昨今、全く問題がないか、といわれれば無い訳ないのですが、自分の意見を自由に言い合い、いつも前向きに、生徒の気持ち大切にしてくれた教員集団で一緒に働けたことを感謝しています。

そして、わがままな教員を育ててくれた石神井高校の生徒たち、元生徒たちに、感謝、感謝……とても素直で気のよい子供たちでした。他の都立高校と比較して、昔と変わらない雰囲気のある学校でした。多少、今風にはなっていますが。

石神井の卒業生は、皆石神井高校がとても好きです。最近の卒業生も先輩たちに負

けず劣らず、石神井高校が大好きです。このような学校を卒業する事ができ(我が家には、静代(妻・二十期)、千尋(子・四十九期)と三人の同窓生がいます)、また十二年間も勤務する事ができ、また卒業できたことをとても幸せに思っています。

十二年の間、バスケットボール部のOB会をはじめ同窓生の皆様に多大なご支援を賜りましたこと深く感謝いたします。お礼申し上げます。

新しいところでも精一杯頑張ります。石神井高校卒業の名に恥じぬように……。

●年中無休 AM10時~PM10時

日帰り温泉 露天風呂

武甲温泉 武甲温泉

☎0494-25-5151

ミッコロ コイコイ

西武秩父線横瀬駅下車徒歩8分

特急停車駅

平日 ¥600 (1日)  
土日祝 ¥700 (3時間)

## TOPICS

## 60周年記念行事阿部勤也氏講演会開催される



平成十二年六月二十四日(土)に母校の講堂で在校生、職員、同窓生などが集まり石神井高校創立六十周年の記念行事として、記念講演と記念品の配布がおこなわれた。講演の講師は阿部謹也氏(現共立女子大学長、元一橋大学学長、高校五回卒)で、現役の生徒全員を集めて「二十歳までに考えること」をテーマに約一時間半の有意義なお話を頂いた。今の高校生には一時間を超えるお話はやや長すぎたかもしれないが、阿部氏の高校生活等を題材にしたわかりやすいお話で、なかなかチャンスのない貴重なお話であった。出席した同窓生も過ぎ去った時代を思い出し感銘を受けた方も多かったのではないだろうか。

最近の高校生は静かに話を聞くことが苦手と言われているが、静かに最後までお話を耳を傾けていたようだった。

石神井高校創立六〇周年に当たり、学校側では特に記念行事がなく、同窓会として何らかの記念行事をできないかという声が高かった。単純な祝賀会を行うよりも何らかの形で現役生の役に立つような行事として、講演会を企画することとなった。人選に検討を重ねた結果、同窓生でもあり共立女子大学長をされている阿部氏に快諾を頂いた。

土曜日ということで、本来は休日であったが、学校側の協力も頂き盛大な講演会を行うことができた。

講演終了後に記念品として石神井校章印入りの紅白饅頭が出席者全員に配布された。

## 阿部先生の講演会を企画して

同窓会幹事会 勝見鈴代(高二十回)

懐かしい母校石神井高校が、創立して六十周年、人間で言えば還暦を迎えることとなりました。私事、数年前より高校の同窓会のお手伝いをするようになっていまして、六十周年を記念し同窓会で行事をしようということとなり、講演会のお仕事を分担して担当することになりました。

かねてより内々に講演を打診していた阿部謹也氏からOKのご返事をいただき、平成十二年五月九日に、阿部氏が学長をされている共立女子大に、打合せとして訪問しました。

阿部氏は、石神井高から一橋大学経済学

部に進まれ、小樽商科大、東京経済大学、一橋大学の教授を経て、九十二年より六年間一橋大学の学長を勤められ、一昨年より共立女子大学の学長に就任されています。ご専門はヨーロッパ史で、非常に多くの学術的な著作があるばかりではなく、一般向けの分かりやすいペーパーバックも書かれておられ、快活なお人柄からも楽しい講演が期待されました。

当日はやや雨混じりのお天気でしたが本降りになることもなく、阿部先生は9時半にはお見えになりました。当日の係りとして、私と同期で当日の司会を勤める長谷さんと先生をお迎えしましたが、講演が始まるまでの間でも、気さくにジョークを飛ばされる先生に緊張気味の私たちも少々脱線(気味で楽しい時間を過ごさせていただきました)した。

肝心のお話は、「二十歳までに考えること」というテーマで、主として現役高校生に若い「今」にすべきことをどんどんやりなさい、というエールを込めたお話と感じられました。さすがにお話慣れていらつしやる様子で、一時間を越えるお話にも、すっかり惹き込まれてしまいました。

最近の閉塞感が漂う世相を吹き飛ばすようなお話に、高校生もさる事ながら出席していた同窓生もずいぶん感銘を受けたのではないのでしょうか。また、さすがに長い話は苦手の高校生ではありましたが、心配していたように騒ぎ立てる子もおらず、一応神妙に話を聞きお話の後には大きな拍手を送る態度には、なにかほっと安心させられるものがありました。今の子供は確かに人

の話を聞くのが下手だ、とはよくいわれませんが、こういった「人の話を聞く」チャンスが少ないのも事実だと思います。その意味では、この講演会を開催したことは、現役高校生にも何か残るものがあったのではないかと、という気がいたします。

大学の学長の「阿部先生」ではありませんが、私たちにとってむしろ石神井の阿部先輩でもあり、事実そのように接していただき、とても充実するとともに楽しい時間を過ごさせていただきました。



同窓生でもあると共に本校で物理を教えておられた豊田博滋氏(中学二回)がホームページで当日の様子と写真などを紹介されています。

### 定期総会開催のお知らせ

同窓会規約第九条にもとづき平成12年度定期総会を下記のとおり開催しますので、召集いたします。

平成13年4月吉日 同窓会会長 高橋 勇  
記

日時 平成13年6月23日(土) 午後1:00より  
場所 母校会議室

- 議事 第一号議案 平成12年度事業報告
- 第二号議案 同上の会計収支決算報告及び会計監査報告
- 第三号議案 平成13年度事業計画案
- 第四号議案 同上の会計予算案
- 第五号議案 役員人事改選

以上

第1号 議案 平成12年度事業報告  
平成12年度(2000年)平成12年4月1日～平成13年3月31日  
<平成12年(2000年)>

- 4月 母校入学式に会長が来賓として臨席する。
- 3月19日(土) 平成11年度会計決算と会計監査を行う。
- 4月8日(土) 役員会 ☆会計報告と次年度予算案  
☆総会の役割分担 ☆黒菱山荘基金
- 6月4日(日) 母校体育祭に会長が来賓として臨席する。
- 5月 同窓会会報誌「きずな」第49号を発刊し会員に送付する。
- 6月24日(土) 平成12年度定期総会及び母校の恩師を招いての懇親会を開催する。定期総会議事はすべて原案どおり可決承認される(議案は「きずな」に掲載)。
- 10月14日(土) 第8回東京校歌祭(日比谷公会堂)にプラスバンド有志を交えて参加する。
- 10月20日(金) 同窓会名簿発刊

<平成13年(2001年)>

- 3月 母校卒業式に会長が来賓として臨席し祝辞を述べる。
- 3月10日(土) 会計と本年度会計の決算と監査期日の打ち合わせを行う。

第3号議案 平成13年度事業計画(案)

- ◎例年どおりの定例事業を行います。
- ☆会報「きずな」第50号(カラー印刷ページ入り)を発行します。
- ☆インターネットに「石神井高校同窓会ホームページ」の開設を継続します。
- ☆総会終了後の懇親会を実施します。
- ☆第9回「東京校歌祭」に参加します。会員各位の多数参加を期待しています。10月6日(土)に開催予定です。

第5号議案 役員改選

(新役員候補者)  
同窓会会長 林 弘(中2回)

- 広報担当副会長 板谷方彦(高27回)
- 会計 押切裕子(高27回)
- 会計監査 森 雅夫(高8回)
- 幹事長 大久保 利一(高17回)

担当の変更

副会長 高橋一夫(高校20回) 行事担当になりました。

退任

- 同窓会会長 高橋 勇(中2回)
- 会計監査 濱崎 隆光(高40回)
- 会計 小野塚直子(高校45回)

★次の役員に変更はありません。

- 副会長 城 和弘(高12) 総会担当
- 副会長 浦川 伸一(高32回) 山荘長
- 書記 佐伯 博敏(中2回)
- 書記 榎葉祥子(高7回)
- 副幹事長 成富 嶺男(高6回)
- 副幹事長 吉岡幸子(高12回)
- 会計 道家正昭(高21回)
- 会計監査 川口 弘(高4回)

第2号議案 平成12年度会計収支決算報告及び会計監査報告

平成12年度 会計収支決算  
(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

	予算	決算	増減	備考
1) 収入の部	5,296,049	6,555,320	1,259,271	
ア. 繰越金	311,769	311,769	0	
イ. 入会金	1,415,000	1,414,939	▲ 61	
ウ. 年会費	3,419,280	4,436,080	1,016,800	2234人分
エ. 雑収入	150,000	392,532	242,532	注1
2) 支出の部	5,296,049	6,125,611	829,562	
運営基金積立金	0	500,000	500,000	
A. 総会費	600,000	1,295,310	695,310	記念行事開催
B. 本部費	100,000	100,810	810	
C. 幹事会費	50,000	25,600	▲ 24,400	
D. 広報費	1,550,000	1,547,267	▲ 2,733	含インターネット代
E. 発送費	1,860,000	1,797,191	▲ 62,809	きずな送料
F. 行事費	240,000	259,433	19,433	校歌祭参加
G. 山荘費	600,000	600,000	0	
H. 高校援助	150,000		▲ 150,000	
I. 予備費	146,049		▲ 146,049	
3) 差引残高	0	429,709	429,709	次期繰越

注1. 寄付収入、広告収入、受取利息、サラト名簿作成助成還元金

上記のとおり、平成12年度会計収支を決算して報告いたします。

会計 道家 正昭

小野塚 直子

上記会計収支決算を監査した結果、適正であることを認めます。

会計監査 川口 弘  
濱崎 隆光

第4号議案 平成13年度会計予算案

平成13年度 会計予算案  
(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

収入の部	前々年実績	前年実績	本年予算案	対前年増減
ア. 繰越金	443,209	311,769	429,709	117,940
イ. 入会金	1,386,910	1,414,939	1,449,370	34,431
ウ. 年会費	3,799,200	4,436,080	3,992,472	-443,608
エ. 雑収入	161,853	392,532	125,000	-267,532
収入合計	5,791,172	6,555,320	5,996,551	-558,769
支出の部	前々年実績	前年実績	本年予算案	対予算実績
運営基金積立金	0	500,000	0	
A. 総会費	760,385	1,295,310	700,000	-595,310
B. 本部費	105,708	100,810	150,000	49,190
C. 幹事会費	0	25,600	50,000	24,400
D. 広報費	1,601,548	1,547,267	1,600,000	52,733
E. 発送費	1,859,077	1,797,191	1,950,000	152,809
F. 行事費	242,685	259,433	260,000	567
G. 山荘費	650,000	600,000	600,000	0
H. 高校援助	260,000	0	150,000	150,000
I. 予備費	73,209	0	536,551	536,551
支出合計	5,552,612	6,125,611	5,996,551	-129,060
繰越金額	311,769	429,709		

# 校歌祭で一緒に校歌を歌いましょう!

東京校歌祭の参加者募集について  
 東京校歌祭とは、都内の主として都立高校の校歌を、卒業生が歌う集いとして発足しました。毎年日比谷公会堂で開催されています。今年も多く同窓生の参加を期待しております。石神井高校では石吹(吹奏楽部)のOBも毎年参加し、交流を深めております。  
 あなたも一緒に日比谷公会堂の舞台上で立ってみませんか?

## 第8回 東京校歌祭

主催 東京校歌振興会 後援 東京都 協力 日本校歌振興会



### ♪ 歌手が不足しています。♪

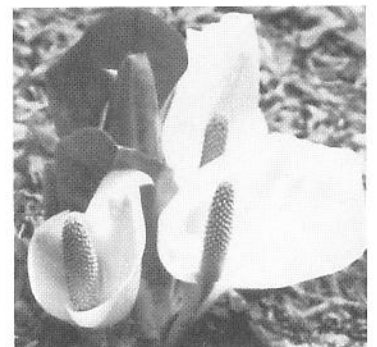
2000年は16名の参加で、歌声が石吹プラスバンドの出力パワーに圧倒されていました。本年は、バス一台分程度(40名)のご参加をお願い致します。

集合 2001年10月6日(土)午後2時  
 場所 日比谷公会堂  
 詳細はインターネットまたは  
 高校二十回 高橋(20回) 03-3991-3586



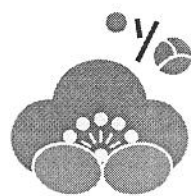
## 黒菱山荘ツアー参加者アンケート

- |                   |  |           |
|-------------------|--|-----------|
| a ツアーを何によって知りましたか | 第1位 きずな  | 第2位 家族の誘い |
| b 参加決定の要因         | 山荘に行きたい  | 八方山麓を歩きたい |
| c ツアーで良かった点       | 唐松岳に登れた  | 山荘体験、登山自信 |
| d ツアーで悪かった点       | 無し   | 山荘トイレ     |
| e 黒菱山荘1泊の感想       | <p>木造建築の暖かさと長年大切に使われてきた実績が、居心地の良さを生んでいる。水、電気、ガス完備で衛生的で山荘として立派な建物だと思います。まだまだ、大丈夫です。今後も使わせて戴きたく思います。</p> <p>もう、慣れました。お手洗いをせめて、水洗にしてもらえれば何も文句は言いません。確かに老朽化し、今のセンスでは受け入れにくいと思われる。早急に募金体制を確立し、運動したらどうか。利用者が少ない状況が続けば廃止取壊しも論議すべき。</p> <p>すごかったのしかった。かくれる場所もあったたのしかったです。</p> <p>とてもボロになっていたので、ショックでした。でも昔と同じ黄色い屋根で良かった。覚悟はしてましたが、汚い。</p> <p>雨漏りなどメンテナンスは必要だと思いますが、老朽化している割には住み易い。</p> |           |
| f 山荘運営の意見         | <p>基金の充実を図り、是非、是非、改修を。</p> <p>500円募金箱 設置!!募金する人は皆同じ500円という金額だから安心</p> <p>同窓会で山荘の運営委員会と利用規約を作り、維持運営し、シーズンには小屋番(利用指導者)を置いて山荘を守り、便宜を図る。会計報告をする。</p>   |           |
| g その他             | <p>大自然の絶景と好天に恵まれて超ラッキー</p> <p>山荘委員会のベテランに先導され、ペース配分がよく、筋肉痛も出ませんでした。</p> <p>雷鳥のかわりにカワガラスが見れたこと99年夏は雷鳥を唐松頂上付近で見れた</p> <p>夫の同窓生に会えたこと</p> <p>掃除はくじびきで公平に決めるべき</p> <p>梅池自然園 スカラのワインおいしかった</p>  |           |



※御協力ありがとうございました。更に楽しいツアーにしたいと思います。 高橋一夫

# 同窓生 より



壁画制作のお知らせです

福井洋一（高校二十一回）

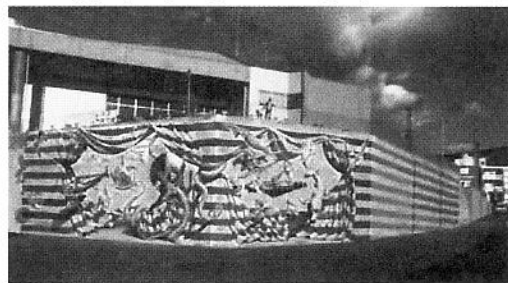
伊豆大島の元町港に大きな（高さ7.6m、幅25.9m）壁画を制作します。今月中旬より制作開始、三月一杯で完成させる予定です。島に上陸すると最初に目に飛び込んでくる壁面です。

大島町助役さんの「観光という側面も御配慮いただければ…」というごく控えめな御要望を聞くまでもなく、お世話になった恩返しの意味も込めて、どんな壁画がふさわしいか思い悩んだのですが（…三原山…あんこ椿…）最終的に（魚およびその他、海の生物）に決めました。

三年前のフィレンツェのバルバジャンナ美術館の個展のテーマが「緑木求魚」でしたし、大島での最初の大作、都立大島高校体育館のホリゾント画も同じテーマでした。今回（魚）と組み合わせるのは（樹）のかわりに（カーテン）です。

カーテンは二年前フィレンツェのヴィラ・ヴィロレージに描いた壁画から引き継いだモチーフです。

今度の壁画でカーテンを引くのは女神フロラのかわりに飛び魚とカモメ、カーテンの陰から



現れるのは田園風景ではなく、様々な生物たちが躍動する海中の世界です。海の生き物たちには神話的な風貌を与えます。擬人化ならぬ擬神化した魚です。

マニエリズモの画家、ジュリオ・ロマーノが描いた「巨人の間」（パラッツォ・デル・テ、マントヴァ1526〜35）のような迫力が出せれば成功です。

専門のアフレスコ技法で描きたいところですが、永遠とも言える耐久性をもつフレスコ画も残念ながら、塩分をたっぷり含んだ潮風に対しては強いとは言えないのです。（ジョルジョーネがヴァネツィアの二つの建物の外壁に描いたフレスコ画は現在小さな断片だけを残して消失しています）

というわけで今回の壁画はアクリリック絵具を用いて制作いたします。今まで描いた壁画のなかで最大の大きさです。（製作期間は最短ということになるかも知れませんが、完成したら是非ご覧いただきたいのですが、製作中の御来島も大歓迎です。

## ●お願い その1

大島は現在かつてない厳しい状況にあります。十五年前の全島避難以来、徐々に回復していた観光産業ですが、三宅島噴火による観光客激減という危機に直面しています。

にもかかわらず心優しい島民たちは三宅を思慮って「大島は大丈夫」と声高には主張していません。今回の壁画制作の顛末とその完成が、大島の観光復活に多少でも寄与することを切望しています。

製作中および完成後も取材・報道大歓迎いたします。ご高配賜りますようお願い申し上げます。

というわけで、このお知らせを各方面にご回送いただけましたら幸いです。

## ●お願い その2

町予算が限られているため製作費が不足しています。現物（アクリリック絵具など）の提供、企業および個人による資金援助（小口、大口問わず）、労働ボランティア、いずれも大歓迎です。

（編集部注・完成年平成十三年四月）

## 久しぶりに武蔵関公園 に行きました

戸津 博（高校二十一回）

団塊の世代のシッポの部分である我々、昭和四十四年卒業生（昭和二十五年・二十六年生まれ）も五十歳の大会に乗り、リストラや将来の年金問題、又生活習慣病等悩み多き今日この頃です。

最近、ラジオで六十〜七十年代初めのフォークソングが流れたり、新聞などにベトナム戦争の時代のことが掲載されたりしていると、何か今まで以上にあの頃のことを懐かしく思い出されるような気がするの自分歳をとったせいでしょうか。

この2月に拜島方面に用事があって久しぶりに西武新宿線に乗りました。

何気なく車窓から外を見ていたら、武蔵関公園が一瞬見えて、高校の頃、よく部活のトレーニングをしたことを思い出し、今度時間ができたら一度行ってみたいと思いました。

そんなことがあって四月のある日曜日に

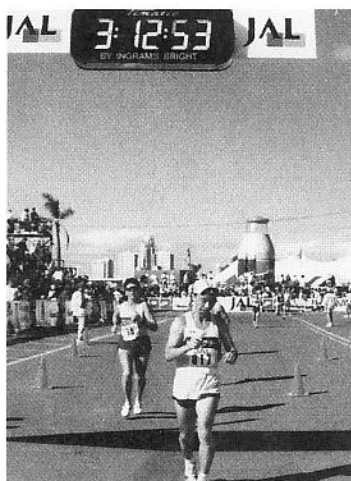
### ○お問い合わせ先

大島町役場 助役 内藤茂男  
〒100-0101 東京都大島町元町1-1-14  
tel. 04992-2-1441 FAX 04992-2-1371

池田舎 池田敏光  
〒156-0055 世田谷区船橋1-9-21  
tel. 03-3439-3901 FAX 03-3439-3930  
E-mail: <ikedasya@s2.ocv.ne.jp>

メイコ・イワモト  
〒114-0022 北区王子本町3-5-3  
tel./fax: 03-3909-0941  
E-mail: <meikoiwamoto@mac.com>

福井洋一（大島）  
〒100-0101 東京都大島町元町4-5-9  
cel. 090-1216-9495





特に用事も無く、天気もよかったので自宅(練馬区桜台)からランニングで約三十年ぶりに武蔵関方面に行くことにしました。

(十五年ほど前からストレス解消と健康維持のためランニングをはじめて市民マラソン等に参加するようになりました。)

高校のときは自宅から自転車通学や石神井公園から西武バスで通っていたので、行きは当時の自転車ルートで千川通りから新青梅街道をゆつくりジョギングで行きました。

約一時間ほどで石神井高校の交差点に着きましたが、高校近くの道路沿いは昔は畑ばかりであったような気がしますが、今はファミリーレストランやマンション等が立ち並んですっかり風景が変わっていました。

高校も昔の三棟の校舎はそのままの様でしたが、体育館、部室、プールがあったあたりはすっかり変わっていたし、テニスコートの周りも整備され、校庭もなんとなく狭くなったような気がしました。

その後、武蔵関の駅まで行きましたが、商店街もすっかり変わってしまったので、部活の後、よく寄ったパン屋(確か「丸十」や卒業前にはじめて行った駅前の喫茶店、確か「白鳥」等)等はすっかりなくなっていました。

それから川沿いに武蔵関公園に行き、ゆつくり一周まわってみました。さすがにここは池の周りに遊歩道ができていたり、真中あたりにあった木の橋がコンクリート製になっていたりしましたが、昔の面影が色濃く残っていました。

桜の季節も終わり、ひと気の少ないポー

ト池のベンチで暫く休んでいると「もうあれは三十年も昔のことなのか」と色々なことが頭の隅をよぎります。

帰りは普通つた石神井公園駅行きのバスルートをゆつくり走りまわりました。高塚のバス停あたりはコンビに等ができていて全く変わっていましたし、石神井公園駅までの間で昔の面影があったのは西村のバス停あたりの雑木林と日銀のグラウンドぐらいでしょうか。

その後は谷原を経由して目白通りで自宅まで帰りましたが、春の一日、いい汗をかき、又、懐かしい思い出に浸ることができました。

同期の皆様はいかがお過ごしでしょうか？私は勤め先が流通関連の会社なので土日に休が取り難いため、同窓会なども無沙汰しております。なかなか不透明な時代ですが、健康が第一だと思えます。いつかまた、会える時を楽しみにしています。(喫茶店「白鳥」は現在も同じ場所で盛業中です。・編集部注)

## “維納・ウィーン”・Vienna・Wien”

石橋 斉(高校三十三回) 在ウィーン

ウィーン、漢字で書くと「維納」と書くこの古都の名前に、皆さんほどの様な印象をお持ちでしょうか？「芸術の都」「楽都」等など、人々はこの街を呼び、その美しさを称えてきました。

私が某企業の駐在員としてこの街に来て早いもので二年が経ちました。

ヨーロッパの地図を見ると、この街が欧州の東西南北の交通の要衝にある事が判り戴けるでしょう。私の担当するビジネスエリアもオーストリアだけで無く、国境を接するチェコ、ハンガリー、スロバキア、スロベニア、そしてバルカン半島、トルコに至る迄、広範囲に亘ります。鉄のカーテンが横たわっていた時代とはかなり状況が変化しています。その地理的、歴史的な背景から、この街がまた中東欧諸国への玄関口である事に変わりはありません。また、国連等の国際機関が集中している為、様々な国の人々が集まっています。ドイツ語が公用語ですが、英語も十分に通用するのはその為でしょう。こんな私がこうして海外で仕事ができるのも、太塚先生を始めとした石神井の諸先生方の充実した英語授業の賜物と言えます。

さて、ウィーンと言えはやはり「楽都」というイメージが強いのでは無いでしょうか？ウィーンフィル、来年九月に小澤征爾が音楽監督となる国立オペラを筆頭に、毎

日どこかで必ずコンサートが開かれています。ベートーベン、ブラームス、モーツァルト、シューベルト、マーラー、ブルックナー等、蒼々たる作曲家ゆかりの建物等が当たり前のようにあちこちにあるのは、ウィーンには堪らない魅力と言えましょう。かくいう私は石神井の吹奏楽部(石吹)に入ったのがきっかけでクラシック音楽の魅力に取り憑かれました。そんな私がこの街に勤務する事となるなんて、何という幸運でしょうか。勤務は多忙を極めておりますが、その合間を見てはオペラやコンサートに出かけています。

ところでこの街でも石神井の縁が続いています。石吹の一年先輩でプロの指揮者として活躍されている尾崎寛尚氏(高三十二回)は、この街で研鑽を積まれた関係で年に数回は当地にいられています。昨年は二年後輩で新進気鋭の作曲家である鈴木英史氏(高三十五回)の作品が、有名な楽友協会大ホールで演奏され、耳の肥えた当地聴衆にも大好評を博しました。またお目にかかった事はありませんが、モーツァルト研究の権威である高校の大先輩、海老沢敏氏(高三回)の著作も良く読ませて戴いております。

いつまでここにいられるか判りませんが、今後もこの街の持つ文化的、歴史的奥深さを堪能しつつ、公私に充実した日々を送れたらと思っております。きっと私の生涯でも、最も思い出深い時となる事でしょう。

喫茶パーラー

# 白鳥

武蔵関駅 南口交番前

昔も今も、営業しております。母校  
お立ち寄りの時は、ぜひ、ぜひ、ご来  
店下さい。

TEL 03-3928-4814

『雨引の里と彫刻』に

いらっしやいませんか

寄稿 城和祐(高校十二回)

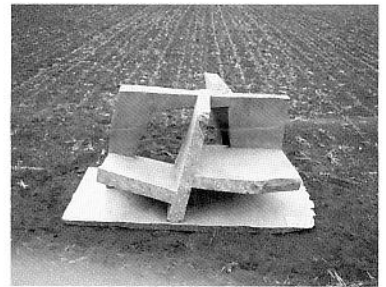
高校十二回生菅原二郎氏  
(東京芸術大学大学院彫刻科修士課程修了  
現大阪芸術大教授)

NHK TV ニュースで何回も取り上げられたのでご存知の方も多いと思うが今年も三月二十五日〜五月二十七日迄、第四回目の野外彫刻展が彫刻家四十名の参加で開催された。

茨城県真壁郡大和村は石材の山地でもあり、驚くほど豊かな自然や田園風景が残され、筑波神社、加波山神社、雨引観音等の歴史的、文化的建造物も多くあり、近くには筑波学園都市がある。道路際、畑の中、竹林、池の中と展示会場を全部車で回っても三時間かかるといふ広大な自然の中に各作者が自分で選んだ場所に自分の作品を置くといったユニークな展示方法で、マップを片手に作品探しをしながら、景色を楽しめる。健康にも良いので運動靴を履いての参加を是非お勧めしたい。

我が同期でも

異彩を放つ菅原二郎君は芸大を卒業後、世界を回って活躍し、日本での彫刻展はもつと大衆に近付き且つ、親



しめるべきだとの持論があった。結婚後、ミラノに十五年定住して作品を作り続けヨーロッパで活躍し、日本ではアーバンアートとして、日本ビルや東芝本社

ビル、日比谷シティ等の有名拠点でグループ展や個展を開いて好評を得た。今回のシリーズは、自然の中に彫刻を置くといった斬新な企画で、地域起こしにも役立つと共に、作家個人が自費であの重い作品を地盤の悪い畑や水の中に整備も付けずに展示する苦勞は並大抵の事ではないがそれを実現してきた。

我々十二期生有志も毎年バスをチャーターして中野駅サンプラザ前発で皆家族連れで参加するが、当日は菅原氏にも参加して貰い、説明を兼ねて道案内もして貰える。昼食の弁当から、お開きのパーティーまでセットされており、参加者の作品に対する意見交換など微笑ましく石神井生の文化水準が高まったようで楽しい。

バスには余裕があるので老若男女の同窓生にも是非参加をお薦めしたい。来年の開催分については一名から受け付けるので石神井倶楽部(TEL 03-3319-1129)に申し込んで欲しい。

個人的に行かれる場合は「大和ふれあいセンターシトラス」にお問い合わせください

い。TEL 090-6049-0248 (JR 水戸線岩瀬駅下車)入場無料。無料レンタル自転車も有ります。

三十年ぶりの再会

木原幹洋(高校二十四回)

「全く変わってないな」これがお互いに出た最初の言葉だった。高校同級の佐々木敬君は、糖尿病の再生治療の研究者では日本の第一人者である。私も糖尿病性神経障害を研究しているので彼の活躍は知っていたが、直接会う機会には今まで恵まれなかった。5月に日本糖尿病学会から私が招きを受け、同じくシンポジストとして招聘

されていた佐々木君と京都で三十年ぶりの再会を果たせたのだ。高校時代の思い出話に時を忘れた。佐々木君が今も石神井の同級生や恩師の家族などを診ていると聴いて本当に懐かしかった。僕らの学年は他にも、小野・北濱・中山・沼田・原田・宮村君と医学部に進んだ者が多いが、お互いに卒業後は全く連絡がないのが残念だと話し合った。以前に佐々木君の上司である田嶋慈恵医大教授と一緒に仕事をさせて頂いたことがあり、その時に言われた言葉「君と敬は、雰囲気似ているよ。高校教育が同じだと性格も似てくるんだね」が忘れられない。

著作の「あこがれ」

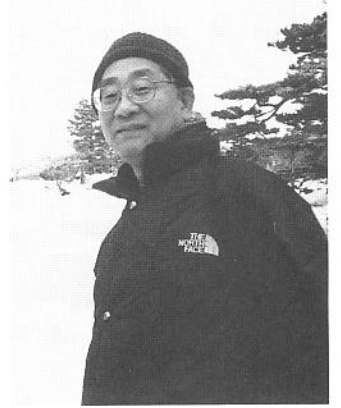
辻誠(高校十二回)

卒業後すっかりご無沙汰致しております。今回本を出版しましたので、PRさせて頂きます。

書名『「上海の職場人間学」ある日系企業の経営ファイル』蒼蒼社で出版(電話: 042-721-9285) 定価二四〇〇円、電話注文後翌日宅急便にて到着します。

私は一九六五年に東京外国語大学中国語科を卒業後、総合商社で定年まで働き、その間中国のスペシャリストとして、一貫して中国関係に従事しました。定年後の三年間は、上海で日本資本一〇〇%の製造会社を立ち上げ経営を軌道にのせる仕事をしました。

最近、日本資本一〇〇%の現地会社が増加してきたが、私が中国で仕事を始めたころは、中国現地資本との合弁会社が多く、この場合、中国人の採用、労務トラブルなどは中国側パートナーが行うので、日本人にはその面の経験者は居なく、私は試行錯誤で会社立ち上げをしなければならなかった。中国貿易を三〇年近く従事していたが、貿易は会社経営に比べ、中国の社会にさほど深く入らなくてもできたため、会社経営でぶつかった中国と中国人についての実情にはびっくりすることが多かった。この中国と中国人について自分が今まで知らなかったこと、びっくりしたことは、必ずや今後あるいは今中国と関係している人、中国に興味がある人には参考になると



思った。

この面を紹介した類書は絶無に近いので、自分が仕事を始めたときの試行錯誤を他の方が繰り返さなくても良いように、人の勧めもあり、この本を書いた次第である。中国と仕事で付き合っている人の中には参事となると思われるが、決して専門書ではない。中国について、一步深く知っておこうと思われる人向けに、興味深いエピソードを紹介しながら、記述しているので、読みやすいと思われる。

### 石吹OB会発足について

石吹OB会事務局 高野 真  
(高四一回 石吹二〇期)

石神井高校吹奏楽部は、部員減少とともに活動が低調となりました。定期演奏会も、数年開催できていませんでした。二〇〇〇年三月に、久しぶりの定期演奏会を行うこととなりました。定期演奏会と日程を合わせて、歴代OB有志が発起人となりOBの集まりを持ちました。

旧顧問の先生方をはじめ、総勢八〇名ほどが参加し盛大な会合となりました。

当日の会費の余剰金や寄付等により、窮乏に苦しんでいる現役に約十二万円の寄付をしました。その後、当日参加できなかった人などから、集まる機会を作って欲しいとの要望があったことや、吹奏楽部現役の経済的負担が依然多額であること、OB相互の親睦を深めることなどを目的として、二〇〇〇年十一月に「石吹OB会」が正式に発足しました。

「石吹OB会」の主な活動は、年一回の総会開催、年一回の会報の発行、現役への経済的援助、指導的援助、OB同士の交流促進などです。将来的にはOB吹奏楽団設立なども視野に入れて活動を進めております。

「石吹OB会」は、同窓会との関わりを重



視しています。同窓会総会や東京校歌祭などの校歌等の演奏も活動の一環となりつつあります。

二〇〇一年度の会報は、五月下旬発行予定です。二〇〇一年度第二回OB総会は、二〇〇二年三月二十三日予定の石吹定期演奏会終了後にセットしております。

石吹OBの皆様におかれましては、今年度も昨年度同様、定期演奏会への参加、会費納入、OB総会参加の方を宜しくお願いいたします。

柔道部OB総会のお知らせ  
同窓会当日、左記の通り柔道部OB総会を開催いたしますので、OBの皆様はぜひご参加ください。  
六月二十三日  
午後一時三十分〜稽古会(於 柔道場)  
午後三時〜OB総会(於 会議室)

**祝大江戸線開通!**  
OB特典色々!ポイントカードメンバー募集中  
石神井倶楽部談話室へようこそ

懐かしさと  
楽しい語らいを

☎03-3403-3461 都内8店舗直営  
in あおしま 青山店 社長 城和裕(12期生)  
港区北青山1-2-3(青山ビルB1)地下鉄青山一丁目駅0番出口前 店長 小田由行(土日祭日貸切可)



# 同期会報告 ・お知らせ

昨年から今年にかけて開催された、同期会・クラス会の報告と、これから予定している会のお知らせです。お問い合わせは、それぞれの期の幹事の方へ、直接お願いします。

## 中学四回・高校一回生

### 古希の同窓会

真家俊雄(高校一回)

昨秋十月六日。「ミレニアム古希同期会」と名付けて、往年の石神井健児たち約五〇名が、恩師を囲んで懐かしい語らいの一日を過ごし、旧校歌「粹然と…」の合唱で再会を約しました。

私たちは、昭和十八年に府立石神井中学に入学し、それぞれ旧制中学第四回、新制高校第一回卒業の同期生ですが、戦中戦後の激動の時代を木造校舎の男子校で共に学んだ仲間です。軍事教練・学徒勤労動員・終戦・戦後の混乱・新学制移行へと五年乃至六年間の母校で全て体験しました。新体制で卒業進学、社会に出てからは日本の復興と高度成長に各分野で活躍して今や半世紀、大変が現役を退き古希を迎えました。同期会は従来も不定期に開かれました

が、疎開で別れを惜しみながら地方に転校した仲間も参加して、入学ベースで誘い合っております。

今回は手崎先生・寺島先生・高木先生をお招きし、星野先生にはメッセージをいただきました。また三浦先生・古家先生のご健在ぶりも伺うことができました。残念なことに堀池先生が昨春亡くなられ、一同でご冥福を祈りました。

世話人は七名ですが、これを機に行方不明者リスト・物故者名・消息のわかる百人以上の寄せ書き集を住所録と併せ発行しましたが、各所でグループの連絡や小会合の呼び水にもなり、消息の分かった方も増えております。

これからは、同窓会との連携もとりながら、石神井同窓の「きずな」を大切にし、旧交の輪を一層広げてゆきたいと思えます。



事務局・真家俊雄

〒202-0015 西東京市保谷町3-4-18  
電話/fax 0424-61-1117

## 高校第四回生・五十年振りに再会

坂本昌廣(高校第四回)

平成十三年四月二十八日午後一時、昭和二十七年卒業の高校第四回生が半世紀ぶりに一堂に会しました。場所は東京・新宿にある住友ビル内、ゲストハウス「メンバーズ・ギルド」。出席は浅見豊治、手崎政男、福田稔、水谷英一郎の諸先生方を始め卒業生百二十四名。遠くは札幌、淡路島からの出席もあり盛大に開催されました。

先ず、大藪正哉幹事代表が挨拶し、当日出席されない物故者のご冥福を祈り全員黙祷の後幹事の山田巖氏の発声で始められました。先生方を代表して手崎先生から、又高橋勇同窓会会長からの来賓挨拶もあり、始終和やかな内に進められました。卒業以来五十年間、厳しい時代を駆け抜けてきた諸兄は五十年前の面影を頼りに名前と顔とに一致に時間が掛かりはしたものの、会場のあちこちではタイムスリップしたあの日あの時の想い出話に花が咲き、いつしか時の経つのを忘れさせてくれました。時あたかも小泉内閣が誕生し、かつてない混乱の世相にも関わらず多数の出席があったことは、石神井高校で培われた逞しい精神力の一端をかいま見た思いでした。約三時間の開催を期待する声も多く再会を期して盛会の内に閉会しました。今回都合により出席されませんでした諸氏についても会場のあちこちで近況など情報交換されていましたので、次回は是非出席されることを願って

おります。終わりにりましたが、同期の皆様が今後益々各方面で活躍され、母校・石神井高校がこれからもよき校風を永劫に引き継がれ、諸先生方また学生の皆さんによって、心に残る学校として今後一層発展することを祈念致します。なお今回の開催にあたり諸先生方並びに同窓会会長と、幹事を務めて下さいました大藪正哉、下村昭彦、山田巖、間中得雄、服部俊男の諸氏に厚く御礼申し上げます。



十二期会だより

野澤宏之(高校十二回)

四年に一度、夏季オリンピックの開催年に行う我々の同期会が昨年の十月に、恒例となっている同期の城君の「あおしま青山店」で開催されました。(いつからか、四年ごとでは間が開き過ぎるので、中間の二年ごとにも行うようにしています。)

もう何回になるのか、多分そんなことは誰も気にしていないと思う。とにかく、みんなが集まって、マイクを持って喋っている人の事などお構いなく、そこそこでグループごとにワイワイ、ガヤガヤとやっています。五十才台ともあと僅かでお別れとなるのに、相変わらず元気なのは、同期のゆえのことでしょうか。

我々の同期で、二科会の彫刻で今や重鎮となっている菅原二郎君と彼の仲間が主催している「雨引きの里と彫刻展」が数年前から毎年のように開催されているので、二期のメンバーでバスを仕立てて、(私には)分かりもしない事を解った振りをして、鑑賞にいらしています。今年の開催期間は三月から五月で、この記事が読まれる頃には残念ながら終わっています。また、毎年開かれて二科展に十数人が集まって見に行き、見た後で、例によって城君の店で、感想を言い合ったりしています。

二期のメンバーには、陶芸をやっている人や音楽をやっている人など、文化の香りを漂わせている人も多いのですが、一方



で、ゴルフも結構盛んで、二期会ゴルフコンペを年に二回行っており、十二年以上続いています。この会で使っている持ち回りのバカデカイ優勝カップ(優勝者全員のプレートが貼ってある)のプレートが貼れなくなる三年後にこのカップがどうなるか、行方や如何です。

次の二期会は、全員が六十歳になる来年度の四月に行うことになっています。還暦をお互いに祝うために、赤い色が入ったものを身につけてくることにしています。またまた、青春時代に戻って騒ぐことでしょう。

シーラカンス二十一のご報告

佐久間利和(二十一回生)

石神井高校第二十一期卒業生の同期会が二〇〇〇年五月二〇日に中野サンプラザにて行われました。当同期会に「シーラカンス二十一」と名前が付けられました。「シーラカンス二十一」とは私たちが入学した当時、坊城教頭先生が宮中の歌会始めてご披露された強烈な印象の残った「シーラカンス」の歌と、二十一期卒業二十一世紀の「二十一」にちなんだものであります。

私たちの同期会はオリンピックと同じサイクルで四年毎のオリンピックの年に行われております。今年も恩師の先生方との交流、有志による懐かしのフォークバンド演奏、景品獲得のゲームなどが行われ楽しい時間があったという間に過ぎ去ってしまいました。これからも四年ごとにお互い元気に顔を合わせて楽しい会を続けて行きたいと思っております。



石神井高校13回生同期会のお知らせ

13回生(昭和36年卒業)は昭和56年から5年おきに同期会を開催してきました。

- 第1回 昭和56年5月10日 同窓会総会後に教室で…
- 第2回 昭和61年5月25日 新宿ワシントンホテルで…
- 第3回 平成3年5月19日 新宿セントラルパークで…
- 第4回 平成8年7月20日 あおしま青山店で…

毎回、100名以上の同期生が出席し、大いに盛り上がりました。

そして平成13年7月1日は前回と同じく青山の「あおしま青山店」で開催します。お誘い合わせの上、多数のご出席をお待ちしています。

■開催日/平成13年7月1日 午後12時～5時

- 会場/レストラン あおしま青山店  
東京都港区北青山1-2-3(青山ビルB1)  
(地下鉄銀座線青山一丁目下車1分)  
電話 03-3403-3461
- 会費/1万円(飲食代、通信費、名簿印刷費、写真代、写真送付代など)
- 出欠/同期会の口座への会費振込をもって出席の連絡といたします。6月20日までに振り込みくださるようお願いいたします。
- 口座名/石神井13回生同期会 第一勧業銀行高輪台支店 店番号(051)口座番号(1614295)
- 連絡先/野中雄介  
108-0074 東京都港区高輪1-11-2  
Tel03-3441-1530 fax 03-3441-1559  
E-mail/pr-nova.nonaka@nifty.ne.jp

## 石神井倶楽部談話室『備え付けノート』より会員の声を抜粋!

・高20回 前田洋子 子育てに忙しくしていましたが、去年、卒業30周年の会に出席し、とても懐かしく楽しい一日を過ごさせていただきました。今年と同窓会も30年ぶりに行こうと思っています。娘が今高三、学校の話を知っていると石神井高校での事が思い出されます。同窓会役員の方、『きずな』担当の方いつもお世話になって有り難うございます。これからも宜しくお願い致します。

・高20回 勝見鈴代 同窓会活動が次の世代へ新しく広く活動の中が大きな波となって行くことを祈りたい!何とか伝えていきたい!初めてお会いした先輩の方々のお話から石神井高校には色々なジャンルで活躍している方がいることが分かり、又同窓会が面白くなった気がします。文明がどんなに発達しても変わらないのは人と人の繋がりがだったり、人を想う心だと思ふ。そしてやっぱり一番大切なことと思うからこれからの若い人たちに大切に伝えていきたいと心から思っています。

・高5回 池内博子 同窓会役員会に初めて出席、先輩から後輩まで縦の流れに合うことが出来、感激しました。同窓の誼と、素晴らしさ、懐かしさに初めて触れ、初めて会った人々にも心安らぐ気持ちの嬉しさに、同窓の良さ、有り難さを初めて感じました。有り難うございました。

・高14回 井上 昂 家族五人で「あおしま」で会食。大阪で大学に通う長女の上京にあわせ、家族五人で青山、原宿、神宮外苑を散策、久しぶりの家族団欒の場を持つことが出来た。私自身は二度目の来店となるが、家内、子共達から良い店だねと喜ばれた。父親の面目が立った一晩でした。今は亡きガン先生を偲び杯を交わしています。

・高5回 朝日光子 初めての参加、大変楽しい会でした。こんなことならもっと早く伺えば良かったと思います。殆ど初めての方々ばかりですが、石神井の同志という強いきずなを感じました。

・高3回 佐藤 健 あの頃 学校の周辺はすべて麦畑、特に校門の前は夏はサツマ芋の畑、これを悪戯する生徒が芋を引き抜く。キンちゃんという農家のおじさんが追いかける。終いには、キンちゃんに追いかけられたことのない奴は一人前でなくなった。我々は皆一人前になりたくて芋を盗みに行った。昭和21年の夏の事である。

・高17回 大久保利一・清水 17回同期会やらせてもらいました。元気、元気、皆元気で集まりました。有り難うございました! 皆んな年取っても、気持ちだけは高校時代を忘れないで、次の同期会に参加しよう!

・高37回 幹事一同 高校37期同期会! 今夜は笑顔の絶えない一時でした。又の再会を合言葉に解散しました。良かった、良かった。しばし今日は久しぶりの顔に沢山会えて楽しかったです! いつか会えたら じゃあな ふじわら 又来まーす。“あおしまの小田さん” 大変お世話になりました。お蔭様で楽しい会にすることが出来ました。参加してくれた人達も『楽しかった』と口々に言ってくれました。本当に有難う。

・高1回 真家俊雄 初めてお訪ねした石神井高校卒1回生です。私達は戦中、戦後にわたって石神井中から高校へと5~6年在校で全て男子ばかり、今や半世紀を経て古希を迎えました。同期会の世話をしていますので、これからも利用させていただきます。

・高1回 村瀬善久 一度同期会を開く様、皆世話人に計ります。今迄一年半毎に行っていましたが、一年で一回開く様考えています。その節は宜しく。

・中1回 堀 利晃 府立十四中(現石神井高校)第一期卒業。又、来店致します。三和建物装備(株) 社長

・中2回 田村典夫 微笑と闘志!! さわやかな楽しい同窓会を続けましょう。(日比谷の校歌祭のリーダーです)

## 『石神井倶楽部』からのお知らせ

同窓会お手伝い窓口電話・FAX 03-3319-1122

〒164-0002 中野区上高田1-14-7 青島本屋内 石神井倶楽部宛

- ・ 同窓会会員の住所変更その他お問い合わせのお手伝いをしています。
  - ・ 同窓会活動に対するご意見、『きずな』への投稿原稿や写真も受け付けていますのでどしどし送って下さい。
- 同期会の事、個人的な活動状況等々、e. t. c.

母校の同窓生の先生方が異動でだんだん減り、事務の方達も忙しいので、それをサポートするために昨年より上記の電話(FAX)を開設したものです。現在までのご利用状況は、学校に来た問い合わせは全部この電話に回って来る為、利用率は上々です。但し名前、卒業期、電話番号のはっきりした方には全部、回答や手配は完了。しかし、其れらと言わない方は残念ながら不処理。情報量の多い場合はFAXの方が確実にフォロー出来ますので宜しく願います。

今後『石神井倶楽部談話室』として青山一丁目の「あおしま青山店」の中に引き続き存続しますので、お気軽にご利用下さい。

場所は、皇太子と雅子妃殿下のいらっしゃる東宮御所のすぐ横で地下鉄大江戸線の開通により大変便利になりました。青山一丁目駅0番出口をでた所に位置し大江戸線、銀座線、半蔵門線とアクセスは最高で安心してゆっくりご利用になれる良い環境です。

# 黒菱山荘基金

☆昨年の『きずな』には編集時の手違いで基金協力者の一覧が掲載できず申し訳ありませんでした。『黒菱山荘基金』の基金立ち上げ時のお約束通り、公正を期す為、郵便振替口座に入金されている内容を発表致します。景況の影響か、まだ同窓生多数の会員にお願いが行き渡っていないのか、これからも大いに基金協力を声を大にして重ねてお願い致します。それにしても、恩師の先生方からの多額のご支援には本当にありがたく頭が下がる思いであります。現在、山荘も屋根が傷みながらも山荘会の努力で辛うじて厳冬を越えている状態です。統廃合の起きる石神井高校の将来、現役生の心身鍛錬の場所としての山荘の必要性を考え是非皆様のご協力を重ねてお願い致します。今年からダイレクトメールによるお願いも開始する予定です。

基金管理者 林 弘、城 和裕

郵便振替口座

00150-3-129748 『黒菱山荘基金』



## 2001年夏

### 第三回「黒菱山荘」へ行こうツアー！！

同窓会の後援を得て、本年も下記ツアーを計画しましたので、友人、家族連れ、夫婦、一人旅等々、奮ってご参加下さい。(昨年は天候にも恵まれ大好評でした)黒菱山荘の現在を体験し、白馬山麓を散策しましょう。そして、山荘の今後を皆で考えてみませんか。

#### 記

\*2泊3日 1日目 黒菱山荘(八方尾根、黒菱平) 泊  
2日目 プチホテル「スカラ」  
(白馬村、DB経営) 泊

\*出発日 7月20日(祝)~7月22日(日)

\*会費

JR特急コース 33,000円(JR特急あずさ利用)

エコノミーコース 23,000円(JR青春18きっぷ利用)

マイカーコース 18,000円(マイカーで現地)

◎2泊6食付

山荘・ベンション各1泊(1日目の昼食は各自弁)

\*催行人員 20名

\*主な見どころ 八方池 石神井ケルン 唐松岳(注)

大雪渓 初ベビックジャンプ台  
(注)山荘委員会登山ガイドをお願いしておりますので、唐松岳にチャレンジしましょう！

#### 旅行条件

1. 山歩きの装備でご参加下さい。特に靴(はきなれたもの)、帽子、着替え、防寒具、洗面具、常備薬など
2. 山荘滞在中は、食事作り、掃除など共同作業、団体行動となりますので、ご理解と協力をお願いします。
3. 部屋割り等は幹事にお任せ願います。男女別の相部屋になることがあります。
4. 会費には個人的に消費するものは含まれておりません。
5. 集合場所、時刻、行程表、列車などはお申し込み後、詳しくご案内します。
6. もう一泊の方は、直接スカラさんへ申し込んでください。
7. お申し込みは6月30日まで(先着順とさせていただきます)。

お申込み/お問合わせ

〒176-0002 練馬区桜台4-11-2 高橋 一夫  
TEL/FAX 03-3991-3586 donkou-kaz@jcom.home.ne.jp

## 都立石神井高等学校同窓会 黒菱山荘基金者リスト 平成13年5月2日現在①

◆原師の部		振込日	金額	◆高校の部			
①長島瑞彦先生(理科)	12/3/2	50,000-	22747777-福田忍	高19	11/9/7	10,000-	
②橋本忠良先生(校長)	12/4/24	50,000-	23(前経)	高10	11/12/16	10,000-	
③春日正文先生(数学)	11/11/4	40,000-	24柳沢文征	高31	12/1/5	10,000-	
④相田典子先生(英語)	12/2/1	30,000-	25岡本庸子(購)	高25	12/6/14	10,000-	
⑤三宅哲也先生(理科)	12/1/24	20,000-	26柴田智子(購)	高12	12/6/16	10,000-	
⑥外池武嗣先生(校長)	11/9/20	10,000-	27北 美智子	高18	12/6/19	10,000-	
⑦小林洋子先生(教頭)	11/9/27	10,000-	28大久保 恵(紳)	高18	12/6/21	10,000-	
⑧保母宗男先生(体育)	11/12/14	10,000-	29相田篤子	高24	12/7/3	10,000-	
◆父母と教師の会・総会の部				30片岡なほみ(婦)	高18	12/7/7	10,000-
①伴 三栄子 (経理)	11/8/5	30,000-	31植原庸輔	高12	12/8/24	10,000-	
②99懇親会会場募金	11/6/14	33,850-	32池田豊子	高20	12/8/29	10,000-	
③00	13/5/2	7,451-	33中村瑞江(林)	高32	12/8/29	10,000-	
◆中学の部				34石井秀明・洋子27	高24	12/6/19	8,000-
①林 弘	中 2	11/6/14	100,000-	35谷口 朋	高14	11/6/10	5,000-
②櫻間 卓	中 1	12/6/16	50,000-	36田宮弘文	高39	11/6/14	5,000-
③佐伯博敏	中 2	11/12/6	11,000-	37杉本幹男	高14	11/6/14	5,000-
◆高校の部				38永野敏子(預)	高36	11/6/14	5,000-
①矢向高弘	高38	11/6/9	50,000-	39川口 弘	高 4	11/6/14	5,000-
②城 和裕	高12	11/6/14	50,000-	40石田憲孝	高20	11/6/14	5,000-
③今井克博	高36	11/6/28	50,000-	41石川則子(鼓)	高23	11/6/21	5,000-
④藤原りえ(紳)	高38	11/9/9	50,000-	42藤沢真理(購)	高35	11/6/25	5,000-
⑤飯山祐二	高13	11/10/20	50,000-	43田中文世(販)	高19	11/6/28	5,000-
⑥新谷宣雄	高12	11/11/2	50,000-	44松本和可子(紳)	高13	11/6/28	5,000-
⑦桜井勉夫	高42	11/8/2	30,000-	45神澤俊江	高35	11/7/2	5,000-
⑧海老名慶二	高23	12/8/8	30,000-	46島田博美	高24	11/7/6	5,000-
⑨石坂明夫	高28	11/6/7	20,000-	47小野近士	高10	11/7/7	5,000-
⑩小池まり子(預)	高38	12/6/19	20,000-	48山崎みち子(購)	高15	11/7/9	5,000-
⑪菅 高純	高36	11/6/28	20,000-	49藤田和子(購)	高22	11/7/21	5,000-
⑫高橋一夫(鼓)	高20	11/9/30	15,000-	50都沢千秋	高31	11/7/30	5,000-
⑬ "	高20	13/5/2	10,641-	51大山秋吉	高11	11/8/5	5,000-
⑭大矢真知子	高19	11/6/8	10,000-	52平塚孝一	高20	11/8/16	5,000-
⑮金子美智子	高25	11/6/14	10,000-	53棟葉祥子(購)	高 7	11/8/30	5,000-
⑯籠内 弘	高26	11/6/14	10,000-	54佐藤淳子(紳)	高32	11/9/10	5,000-
⑰齋藤 輝	高34	11/6/16	10,000-	55河津秀彦	高15	11/9/28	5,000-
⑱門井さなえ(購)	高17	11/6/17	10,000-	56河津洋子	高15	11/9/28	5,000-
⑳高橋みどり	高35	11/6/17	10,000-	57中川純子(購)	高13	11/9/28	5,000-
㉑竹本玲子(鼓)	高22	11/6/21	10,000-	58岸並正憲	高 9	12/6/12	5,000-
㉒松本隆之	高23	11/10/4	10,000-	59村田政子(購)	高29	12/6/16	5,000-
				60海老沢ゆかり(紳)	高20	12/7/10	5,000-
				61野木岳夫	高34	12/7/11	5,000-
				62細湖祥子(紳)	高17	12/6/20	3,000-
				63松本美樹(預田)	高27	12/8/14	2,000-

2001/5/2現在合計 ¥1,255,942-

白馬山麓・山のプチホテル

GROVE INN

skala



石田 弘行 (高校16回) 山岳部・山荘OB  
白馬村山案内人組合所属  
美和 (高校22回・旧姓金井) ESS・山荘OG  
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村みそら野  
Phone 0261-72-4325



# 黒菱山荘委員会から

本年も同窓会による夏山ツアー、PTAによる星を見る会、山荘委員会主催による同窓生スキーツアー、生徒夏山ツアーなど一年間を通じて様々な企画を行い多数の方が山荘を訪れる機会ができました。

今年も昨年に続き大雪で小屋の屋根壁などに被害を受けましたが、何とか対応して黒菱山荘は元気に健在です。冬季の小屋のメンテナンス、雪下し、除雪には多くの方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

山荘委員会では今年度も各種企画を計画しております。詳細に付きましては下記ホームページにて掲載しておりますのでアクセスをお待ちしております。

黒菱山荘委員会委員長 浦川伸一(高校32回)

<http://netpassport-wc.netpassport.or.jp/~wurakawa/>

## 黒菱山荘を利用しましょう

### ☆山荘の利用方法

山荘の管理は、黒菱山荘委員会が行っています。以下の利用規程についてご理解の上ご利用ください。

**利用資格** 石神井高校生(ただし保護者の同伴が必要)・PTA会員・同窓会員・教員・その同伴者

**宿泊費** 同窓会員 学生1200円  
社会人1400円 会員外200円増し  
\*ただし冬季は暖房費用200円をいただきます

**期間** 基本的に制限をしていますが、山荘に不慣れな方は山荘管理者が入荘している期間の入荘をお勧めします。夏休みはお盆休み前後、年末年始2月から3月にかけては不定期です。

### ☆利用申し込みの手順

- ① 先ず大体の日程、人数等をお問い合わせ戴くことをお勧めします。  
※連絡問い合わせ先 『黒菱山荘委員会 03-3385-8996(FAX共)泉水まで』  
当日の小屋番の有無、申込み状況、山荘概況等をお伝え出来ます。
- ② 所定の申込み書にてお申し込み下さい。  
正確にお書き下さい。特に卒業生・一般の区分、社会人・学生の区分、宿泊日・日数等を明記下さい。
- ③ 申込みから1週間を目安に宿泊費を指定口座に入金して下さい。入金が確認されませんと現地で宿泊をお断りする場合がありますので御注意下さい。振込用紙の控えは、当日山荘で入荘時に小屋番が提示をお願いする場合がありますので、大切に保管の上当日携帯して下さい。

「指定口座 郵便貯金 10130-5-5812331 都立石神井高校黒菱山荘委員会 浦川 伸一」

- ④ 申込書を受理し入金を確認されますと、折り返し『山荘利用のしおり』をお送りします。FAX連絡が可能な方にはFAXで、その他の方には郵送で少なくとも入荘1週間前までに送付します。万一期日までにお手元に届いていない場合は御連絡御確認下さい。



### 平成13年度黒菱山荘委員会 役員

委員長	浦川 伸一 (32期)
副委員長	総務担当 鳴滝 康正 (38期) 阿部 繁 (45期)
副委員長	管理運営担当 稲垣 豊 (38期) 泉 竜幸 (38期) 久保木 健太郎 (45期) 阿部 敏 (50期) 福井 絵里子 (50期) 加藤 隆 (50期)
副委員長	書記広報担当 泉水 裕二 (33期) 浦川(上田) 恵子 (39期)
会計	光永(廣坂) 晶子 (43期) 久保木(松田) 慶子 (46期)
会計監査	今井 克博 (36期)
委員	総合アドバイザー 千賀可一 (6期)
現地担当	石田 弘行 (16期)
広報担当	道家 正昭 (21期)
行事担当	新田 春彦 (27期) 高野 久美子 (46期) 平井 麻子 (50期)



平成12年度黒菱山荘委員会 活動報告 (抜粋)

平成12年4月1日～平成13年3月31日

- 平成12年5月14日 黒菱山荘委員会総会(石神井高校にて)
- 平成12年5月15日 黒菱山寮協議会(白馬村にて)
- 平成12年5月27～28日 春の準備会(黒菱山荘にて)
- 平成12年6月3～4日 山水会ツアー
- 平成12年7月20～21日 同窓会黒菱山荘ツアー
- 平成12年7月22～23日 PTA星を見る会
- 平成12年8月9～12日 ハイキング同好会ツアー
- 平成12年8月12～15日 第1回夏の山荘メンテナンス(屋根、プロパン小屋修理)
- 平成12年8月26～27日 第2回夏の山荘メンテナンス(引き続き屋根修理等)
- 平成12年9月23～24日 石神井高校文化祭 出展参加
- 平成12年10月21～22日 秋の準備会(黒菱山荘にて)
- 平成12年10月30日 黒菱山寮協議会(白馬村にて)
- 平成12年12年未年始 山荘年越し
- 平成12年2月10日～12日 同窓生スキーツアー(山荘委員会定例会は毎月行っております)

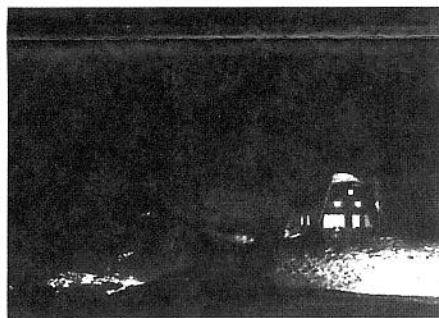
平成13年度黒菱山荘委員会 活動計画

平成13年4月1日～平成14年3月31日

- 平成13年5月13日 黒菱山荘委員会総会(石神井高校にて)
- 平成13年5月21日 黒菱山寮協議会(白馬村にて)
- 平成13年6月9日 春の準備会(黒菱山荘にて)
- 平成13年7月20～21日 同窓会黒菱山荘ツアー
- 平成13年7月下旬 PTA星を見る会
- 平成13年8月上旬 ハイキング同好会ツアー
- 平成13年8月10～15日 夏の入荘期間(小屋番が入ります)
- 平成13年9月23～24日 石神井高校文化祭 出展参加
- 平成13年10月下旬 秋の準備会(黒菱山荘にて)
- 平成13年10月下旬 黒菱山寮協議会(白馬村にて)
- 平成13年未年始 冬の入荘期間山荘年越し(小屋番が入ります)
- 平成14年2月9日～11日 スキーツアー(一般参加)
- 平成14年3月下旬 同窓生対象のスキー教室(山荘委員会定例会は毎月行っております)

ご質問のある方、詳細をお知りになりたい方は山荘委員会泉水裕二宛てにご連絡をください。

(03-3385-8966)



今年は大変雪が多く、山荘は埋まっています。3月に雪下ろしをしようとしたのですが、腰がいたくなり、途中で挫折してしまいました。トイレとベランダ、バルコニー(離れ)の屋根が埋まり、窓が埋まってゲレンデと同じ高さになってしまい、スキーがぶつかってガラスに傷が付いた跡がありました。(D)

卒業後初めての夏の八方尾根

野村(長谷部)みさ子(高校二十回)

二〇〇〇年同窓会黒菱山荘ツアーに主人と娘をつれて参加しました。山麓は、リフトも増えて、人も多く都会をそのまま連れて訪れている人が大半を占め、長野オリンピックでの変貌でしょうか、ただ驚くばかり。でも、ありました、ありました!

あの山の中腹の黄色い屋根の山荘が、樹木に囲まれた、懐かしい石垣の間の扉を開けると、真つ黒な中に、黒い鈍い光を放つ、記憶のままの光景が、それは隣にいる自分の娘(ゆうき・小学校三年生)の存在さえ不思議に思われるほど。また、周囲の咲き乱れる花々、鳥や虫、唐松への山道、ダケカンバの林を渡る風も、少しずつ変わってはいっても、今までの時の流れを忘れさせる処でした。良かった——。今年も行く——。(小三の娘)

あの雪深い一年の半分は積雪のある場所で周囲の山荘が全て、老朽化して変わった中はどうやって、あの姿を維持して来られたのか、不思議です。それは、とても丁寧に、清潔に、維持されていて、ここに係わってきた人たちの、心の温まりまで感じられる程です。

しかしながら冷静にみれば、屋根のきれいに塗られた黄色い塗料の下の鉄板は、もう朽ちかけ膨らんできているし、その下地の小屋組も、朽ちてきているらしく浮いたり沈んだり、内部の黒光りしている木部も、朽ちかけているのか、あちこちで力を

入れれば、打ち抜けそうな処もある。それは丁寧に維持されているからこそ、とても心の痛いほど悲しい状態です。変わったのは自分の体力だけではなかったと痛感しました。

今年は何年にもない積雪で屋根が壊れ、大規模の修理が必要とか、幸いケガ人はなかったようですが、これからますます大変でしょう!平地の住宅でさえ、耐用年数は三十五年とされているのが現実です。築ほぼ四十年、このまま壊れてしまうなら簡単でしょうが、手離してしまつたら、二度と手に入らない。『国立公園内の山荘』です。山荘基金も設立されたようですし、どのような事にするのか皆で、根本的に検討する時期が来ていると思います。

黒菱山荘での、経験や思い、後輩にもぜひ味わわせてあげたい、皆の思い出の詰まったあのピョンピョン平(兎平)の石神井黒菱山荘を救いたいと痛感した二〇〇〇年の夏でした。

はるごしの

小学三年生 はるへ ゆかり

はじめての山のほりの前日は、ときどきしながら、まっています。その日は、朝からお天気でした。八方池よのダケカンバの林が小学生コース、ダケカンバの林を降り、雪道をのぼってだいニケルとちやくーめさすは、だいニケルンーおつきは丸ケルンまでのぼってしまひみんなんにびつくりされました。おるときは、草花を写真にとって、家に帰ってアルバムに入れて名前をしらべて書きました。とても思い出になりました。

今年からまるごのほりへ

# 石神井生はがんばっています!

### 大学別合格者一覧

学校名	現役	浪人	合計
東京商船大学		1	1
東京都立大学		1	1
亜細亜大学	8	5	13
学習院大学	1	1	2
関東学院大学		1	1
共立女子大学	1	1	2
玉川大学		2	2
駒沢大学	1	3	4
清泉女子大学	1	1	2
工学院大学	1	1	2
高千穂商科大学	1	1	2
国士舘大学	4	1	5
東京女子大学	1	1	2
十文字学園女子大学	1	1	2
駿河台大学	5	1	6
女子栄養大学	1	1	2
女子薬科大学	1	1	2
城西大学	3	1	4
神田外語大学	1	1	2
杉野女子大学	1	1	2
成城大学	1	1	2
成蹊大学	7	1	8
清泉女子大学	1	1	2
聖学院大学	1	1	2
西武文理大学	1	1	2
青山学院大学		2	2
跡見学園女子大学	1	1	2
千葉工業大学	1	1	2
千葉商科大学		2	2
専修大学		3	3
早稲田大学		3	3
多摩大学		1	1
多摩美術大学	1	2	3
大正大学		1	1
大東文化大学	6	5	11
拓殖大学	2	2	4
中央大学	1	1	2
帝京科学大学		3	3
帝京大学	5	3	8
東海大学	2	3	5
東京家政学院大学	2	2	4
東京家政大学	2	5	7
東京経済大学	2	2	4
東京工科大学	2	2	4
東京国際大学	3	3	6
東京女子体育大学	1	1	2
東京造形大学	1	1	2
東京電機大学	1	1	2
東京農業大学	1	2	3
東京理科大学		3	3
東北芸術工科大学		1	1
日本体育大学	10	13	23
日本大学	1	1	2
白百合女子大学	6	6	12
白百合大学	1	1	2
武蔵工業大学	2	2	4
武蔵野美術大学	5	1	6
文化女子大学	3	3	6
文京女子大学	3	3	6
文教大学	2	2	4
法政大学	1	3	4
北里大学		1	1
明海大学		1	1
明治学院大学		2	2
明治大学	2	5	7
明星大学	4	2	6
明星大学	2	1	3
立教大学	2	1	3
立正大学	3	2	5
和光大学	1	1	2
國學院大学	1	1	2
フェリス学院大学	1	1	2
計	128	95	223
私立計	127	97	224

進路指導の先生にご提供いただいた資料では、次のような進路をとっているようです。

### 進路状況

卒業生	四年制大学	短期大学	専門学校	公務員	就職	浪人など
男子 152名	48	0	23	0	1	79
女子 138名	42	21	41	0	1	33
合計 290名	91	21	64	0	2	112

### 合格者数

	現役	1浪	2浪以上	合計
国公立大学	1	1	0	2
私立大学	127	88	9	224
短期大学	23	2	1	26
専門学校	69	4	3	76
合計	220	95	13	328

### 実際進学者数

	現役	1浪	2浪以上	合計
国公立大学	1	1	0	2
私立大学	90	50	6	146
短期大学	21	2	1	24
専門学校	64	3	2	69
合計	176	56	9	241

クラブ名	平成12年度(2000年)活動報告(1月末現在)
陸上	春季競技大会男子円盤投4位、学年別大会女子100m 2位、1年砲丸投1位、夏季競技大会女子100m 3位、砲丸投1位。(前記都大会出場)、秋季競技大会女子砲丸投1位
水泳	第3学区都立高校大会団体=男子総合6位、女子総合2位、男女総合3位、リレー=女子400mフリー1位、女子200mフリー2位、女子200mメドレー2位、個人=フリー=50m 1位、2位、100m 1位、2位、200m 3位、400m 2位、800m 2位、3位、バタフライ=50m 2位、100m 3位、200m 3位、バタフライ=100m 1位、2位、3位、200m 1位、メドレー=100m 2位、200m 3位
柔道	男子=関東大会第5支部予選団体2位、全国高校総体第5支部予選団体1位、新人柔道大会軽量級優勝、練馬区民大会男子団体優勝 女子=東京都高校女子団体柔道大会第5支部第2位、全国高校選手権大会第5支部予選女子軽量級優勝
男子テニス	第39回東京高校新人大会シングルス3回戦進出、第6回東京都立高等学校テニス選手権大会ダブルス5回戦進出
女子テニス	第40回東京高校選手権大会出場、第38回都立対抗テニス大会3回戦進出、第39回東京高校新人大会出場、第15回練馬区対抗戦出場、第22回フジカップベスト16、第6回都立校テニス選手権大会出場
サッカー	新人戦関東大会予選東京都ベスト16、全国高校総体東京都大会=3回戦進出、全国高校サッカー選手権大会=日ブロックベスト8
ラグビー	関東大会予選出場、全国大会予選出場、新人戦大会(15人制2部リーグ戦)出場
男子バスケットボール	練馬区民大会決勝リーグ進優勝、支部大会ベスト4
女子バスケットボール	東京都2部夏季大会ブロック準優勝、練馬区民大会優勝
男子バレーボール	関東大会予選1勝1敗、インターハイ予選1勝1敗、夏季都立校大会予選リーグ1勝2敗、新人大会予選リーグ1勝2敗
女子バレーボール	春季リーグ戦3位、インターハイ予選3回戦進出、夏季大会3回戦進出、第3学区都立校ベスト8、新人リーグ戦第1位、新人選手権一部大会2回戦進出
野球	全国高等学校野球選手権大会西東京大会3回戦進出、選抜高等学校野球大会東京大会予選ブロック準決勝進出
女子ハンドボール	教育研修大会優勝、秋季新人戦リーグ2位(以上高体連)公立大会決勝トーナメント進出
バドミントン	個人戦=練馬区民大会1部準優勝など、団体戦=新人戦Bブロック大会3回戦出場
スキー	都大会出場、秋季検定大会上位取得者1名
ソフトボール	インターハイ東京大会ベスト16、公立選手権夏季大会ベスト8、公立選手権新人戦第3位。(春季近畿公立選手権出場権獲得)
写真	学校行事を撮影した作品や個人テーマに基づいた作品を文化祭等で発表、体育祭、各大会、各試合等記録をとったり記録中
音楽	Music Power Station 2001 in Tokyo 決勝大会出場、Teen's Festival 高校対抗バンド合戦オーディエンス賞受賞

▲クラブ活動の紹介を、校誌「石神井」より抜粋しました。

## ★同窓会会員名簿 若干部数在庫があります

昨年10月に発行した同窓会会員名簿ですが、若干部数に限り、在庫があります。6/23日の同窓会当日の懇親会会場受付にて、残部数に限り先着順に販売致しますのでご利用ください。なお、部数に限りがありますのでお一人一冊に限らせていただく場合があります。また売り切れの節はご容赦ください。

一部 4100円(税込み) ※郵送でのお申し込みはお受けできません。会場でのみの販売となります。

# URLは <http://www.shakujii-club.gr.jp>



石神井高校同窓会では、3年前からホームページを運営しております。都立高校の同窓会ではかなり早い時期から運営を開始し、行事などの告知だけでなく、住所変更や住所不明者の登録を行う機能、期別やクラブ単位での掲示板、会議室、メーリングリストなど、同窓生の技術的バックアップで、かなりの機能を備えたページとして成長しております。また好評だった新・旧校歌、応援歌のサウンドの掲載に加えて、今回は映像素材の再生機能も付加し、まさにマルチメディア的な発展を続けています。表紙は開設当初から大きな変化はありませんが、中身はどんどん拡張され充実してきています。会員の皆さんが参加することでますますページが充実するばかりでなく、忙しさや距離の問題や、時間の壁を越えて、電子の糸で結ばれるもうひとつ「きずな」として機能していくとき、若い日々の思い出を共有する「同窓会」の21世紀の姿が見えて来るような気がします。

### ●ドメイン名の由来

インターネット上での名前にあたる「ドメイン名」の申請にあたり、単に「shakujii」でもよいという考えもあったが、「石神井」は地域の名称であり、また「石神井中学校」も別にあること、また都立石神井高校から独立した同窓会のホームページであるということで、「shakujii-club」として申請しました。ドメイン名には、～.com(いわゆるドットコム)やco.jpが末尾につきますが、同窓会という任意団体本来のドメイン種別で審査が比較的きびしいgr(グループ)ドメインをあえて取得しました。shakujiiなのかsyakujiiなのかの論争もありましたが、なんとなくシャキッと見えることや、運動部の選手のユニホームは伝統的にshakujiiであるとのことから、こちらに決定しました。

### ●iモード/ezwebへの対応

わが同窓会ホームページは商業目的ではないので、あまり充実したページを作ることはできませんが、総会の日程や校歌際のおさそいなど、文字情報を中心とした携帯電話用のページを作成しています。もちろん、非公式ページなのでURLを打ち込まなければなりませんが、ご利用ください。  
[www.shakujii-club.gr.jp/i/](http://www.shakujii-club.gr.jp/i/)  
 および [www.shakujii-club.gr.jp/ez/](http://www.shakujii-club.gr.jp/ez/)

### ●AV機能のご紹介

これまでの校歌・応援歌に加え、校歌祭のビデオファイルを公開しています。現在QSIFサイズのMPEG1形式で試験運用しています。「校歌」のページにボタンをおいています。



## PHOTO Album2001



写真提供 道家 正昭(高21回)

# きずな50号は、増ページ(20P)でお届けします!

## 黒菱山荘基金募集中



写真提供・高橋一夫(高20回)

昨年に引き続き、黒菱山荘基金を募集しています。  
黒菱山荘維持のため、広く皆様からの援助をお願いします。(関係記事15ページ)



写真提供・嶋滝 康正(高38回)

同・窓・会・主・催 **募集中**  
2001年夏

第三回「黒菱山荘」へ行こうツアー!!  
好評につき、本年も上記ツアーを計画しました。  
黒菱山荘に宿泊し、白馬山麓を散策しましょう。  
ご友人、家族連れ、ご夫妻、一人旅等々、制限はありません!奮ってご参加下さい。(関係記事15ページ)



## あの人はどこ?キャンペーンもずっと継続中です。

なるべく多くの同窓会会員の消息を把握し、会報誌をより多くの会員にお届けするのが、同窓会の大切なお仕事です。

きずな48号では、住所不明者リストを掲載し、多くの同窓生のリストが集まり、「きずな」の発行部数が増えると共に会費収入も若干ですが増加しました。転居などでどうしても会員の住所不明は増えていきます。しかし、お届けをいただければ同窓会の名簿データは簡単に更新されます。転居された方は、同窓会費の振込用紙に記入されるのが一番確実です。

郵送・Faxの場合は、期数または卒業年度、氏名(旧姓)、住所、電話番号、勤務先の変更などの場合は変更先をお書きの上、下記住所までお送りください。インターネットのホームページでも登録ができます。

## 転居した方は、ご本人がお知らせください。

ご送付先 E-mail [amjack@shakujii-club.gr.jp](mailto:amjack@shakujii-club.gr.jp)  
fax 03-5332-3430  
〒1690075 東京都新宿区高田馬場3-28-1 第6康洋ビル別館  
F&F内 板谷 まで  
(この送付先は今年度・2002年5月末まで有効です)

また、石神井倶楽部  
〒1640002 中野区上高田1-14-7 青島本館内  
tel/fax 03-3319-1122 でも受け付けています。  
★ホームページでも住所変更ができます。

「きずな」が届かない方へ  
石神井高校同窓会誌「きずな」は、同窓生全員に送付しております。しかし、転居などで住所が変わる方も多く、毎年一割以上が住所不明で戻ってきているのが現状です。一度「きずな」が戻ってきてしまうと、自動的に送付リストからはずしてしまうシステムになっているため、何かの手違いで郵送できないと、翌年から「住所不明」になってしまうのが現状です。同窓生で「きずな」がお手元に届いていない方は、ぜひご連絡ください。

### お詫びとお願い

同窓会誌「きずな」をなんとかお届ける運びとなりました。私ごとで恐縮ですが、本年は多忙のあまり、制作・編集期間が延び延びになり、御協力いただいた同窓生の皆さんにも大きなご負担を強いてしまいました。また、同窓会役員・幹事会も平均年齢があがり、若い会員、若い世代の話題などを充分に取り込めないまま編集を終わることになったことをお詫びしたいと思います。

世代の差があるとはいえず、十代から七十代までの同窓会員を持つのは、歴史がある学校ならではの良さだと思います。より幅広い世代の同窓生で、この「きずな」を作っていくこそ、年代を越えた交流ができるのではないのでしょうか。私よりも後に石神井を巣立った方たちの積極的な参加をいただき、若い世代の感覚を入れて「きずな」の五十一号が制作され皆さんのお手元に届くことを願ってやみません。

広報委員会 「きずな編集」 板谷方彦 (高校二十七回)

編集協力スタッフ  
板谷方彦 (二十七回)  
高橋一夫 (二十回)  
勝見鈴代(別所) (二十回)  
柴田(石田)依子 (二十九回)  
道家正昭 (二十一回)

誌面や締め切りの都合上、一部製本を怠っていた点、掲載ができませんでしたことをお詫びします。(た) 渡り腰が痛くなりました頭もいたくなりました助けてください。若人よ。と すでに編集作業が破綻しほとんど無修正で印刷になりました。お見苦しい点はひらに容赦ください。(い)

同窓会誌「きずな」第五〇号  
平成十三年五月発行

発行人 同窓会長 高橋 勇  
発行所 都立石神井高校同窓会  
東京都練馬区関町北  
四の三十二の四十八  
03(3929)0831  
印刷所 株式会社文明社  
東京都新宿区榎町七九番  
03(3203)6617